

組織拡大、労働条件改善を 第135回拡大地方委員会開催

第135回拡大地方委 国鉄労働組合長野地方4



安定輸送の確立について、④政治闘争と参議院選挙闘争についての4点について挨拶がされました。諏訪書記長より当面する闘争方針の提案、組織部と業務部から報告があり、その後討論に入りました。

鈴木副委員長の司会で始まり、委員20名中16名の参加を確認し委員会の成立が宣言され、議長には長野運輸分会・小森委員を選出しました。富沢委員長からは昨年11月に松本運輸区肥田さん、12月に鉄道退職者の会・田本さんが亡くなられご冥福をお祈り申し上げますと冒頭話され、その後組織の拡大、安全問題、政

国労長野地方本部は、2月27日に国労長野会館に於いて第135回拡大地方委員会を開催し、2016春闘、組織強化・拡大、安全・安定輸送の確立など当面する闘争方針を決定しました。

治的な課題について挨拶がされました。上部機関では、東日本本部佐藤書記長より、2月8日に第33回東日本本部拡大委員会を開催し、2016春闘を始めとする当面する闘争方針を確立してきた。この闘争方針に基づき当面する課題として①組織の強化・拡大の取り組み、②2016春闘について、③労働条件改善・安全・

増やそう仲間

勝ち取るう要求！

10名の委員 から発言

▼1日2交換がスタートして問題が出てきたのでアンケートを実施。出された内容は、要員の見直し、技術力向上の教育の必要性、職場環境の劣悪さ、半日で1編成を仕上げなければならないため休憩を取らずに作業する実態、新車といつてもい

ろんなところが壊れ、臨時修理が発生するなどの回答があった。下期効率化提案では、在来線、新幹線の作業がラップした場合優先順位をつけ新幹線を優先し、在来線の仕事は停止の貼り紙で対応すると言っている。会社はお客様の安全を安定した車両で提供するという施策に真逆した事をしている。▼貨物会社では毎年合理化の話が出てくる。南松本駅では今、営業A・Bでやっているが

Aを廃止、信号職場では信号A・BとあるがBは入換のテコ扱いで本線に關係の無いテコ扱いの担務を業務委託という提案。団交に出席し提案内容について交渉・説明してきたが会社は、「職場の実態を見れば出来ると判断した」といつも通りの回答だった。ダイヤ改正以降営業A番の仕事は全て営業Bがやると回答したが、作業ダイヤにはその仕事はほとんどが反映されていなかった。信号職場は作業ダイヤの中で、着座時間が連続5時間になっている。もう1人は仮眠時間なので、しょうがない状況だが人を減らす事がこの結果になっている。賃金面・手当面にしても全くいいことがない。闘争しているという感覚が無くなってきている。最後はストライキしかないという思いだ。

▼長野駅の2番線ホームのトイレが何年か前に撤去された。発車間際にトイレに行きたいというお客様を2階のトイレに案内し、列車を遅らせた事がある。2番線の細い通路わきに「小便禁止」という貼り紙が2カ所ある。また、人が通ると感知して光が出る装置を付けて対策をしている。しなの

国鉄労働組合長野地方4



鉄道の列車が乗り入れ、長野駅で不具合があった時の対応は全て運転士が対応する形になってしまいうことが心配。▼長野駅派出の業務体制の見直しと一部業務を新幹線派出への統合の提案について、同じ支部で一方では廃止、もう一方で統合と要求作りでは大変苦慮した。提案後支社人事課が実態調査と称して1日張り付いたり、鉄道サービスが駅での分割・併合をビデオ撮影による教育資料を作成しようとした。偽装請負にあたるのではと思いが各方面に確認したら、その疑いありという見解だった。これだけ自分たちの周りが外注化されてしまいうと普段何気なく行われている様な行為が偽装請負になる事が十分考えられる。今回の駅派出の見直しの案件は、効率化が優先される良い例となっ

てしまった。公共交通を担う者の使命として効率化だけにとられない様に監視し、そして声を出していかなくてはと思う。▼駅関係の技術継承について会社側はどの様に考えているのか少し疑問。駅業務をやっているのは50代で技術継承が出来ていないのが実態。▼青年部員から、「組織の話をするととにかく暗い、前向きになっていない。議論をしているのか、してないのか分からない。分会運動もきちんとなっていないのではないのか？声かけ運動も一部役員だけで全体の運動になっていない。もつと自信をもって話をしてもらいたい」と言われた。▼「国労に

来い」と言う言葉がすごく重い言葉のように思っている気がする。もつと自信を持って気楽に「国労に来い」と言ってもいいのではないか。同じ分会の中でも全員が同じ気持ちを持っていないのを感じる。分会で集会を開いても参加者は同じ人。本当に5年もすれば僅かな人数になってしまう。あと5年あるのではなくあと5年しかない。1人でも多く加入させていかないと時間がない。(青年部)

発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行所 富沢 政英 一人
編集者 鈴木 英一

2016年4月1日
第1517号

鉄労働組合長野地方



▼駅派出の統合では、貼り紙でことを済ますのではないかと。運転士・車掌にすごく重くのしかかること。具体的な例があればチェックしていきたい。ホタテの在庫では、3回目があるのではと思う。2回目も無理にお願いをして貰ってもらった。現地も困っていると思うので、やり抜いてもらいたい。来年に向けてチラシなどもつと工夫を。▼長野駅の分割・併合作業でJR社員にNSR社員が教えてもらう。1対1で教え合うのは偽装請負に

ならないのか？長野地本の春闘の闘い方は？地方大会ではスト権が確立した。もし長野地本にストの要請がきたら、具体的なシミュレーションは出ているのか？ストを打てる体制を作る為にも学習会などの企画をたてて欲しい。組織拡大は色々対策会議などは開かれているがいつもそれで終わってしまう。組織拡大経験交流集会では、もつと具体的な議論を。▼当直助役が長野鉄道サービスマンへ管理者枠で出向した。管理者が偽装請負を全く

知らないで、本体にいて、本体の仕事をしていけば良いみたいな感じで話をしている。融通が利かない、世間を知らない管理者が支社を背負っていく様になる。私たちに後輩に伝えていかなくてはいけない責務がある。次の世代を残す為にも国労は守りに入らないでもらいたいと思う。

した。その後、委員会宣言が提案され承認されました。矢澤副委員長の閉会あいさつ後、電派委員長の団結がんばろうで閉会となりました。



書記長集約後、当面する闘争方針を全体の拍手で承認しま

中間答弁と諏訪書記長集約

三井業務部長

▼下期効率化の交渉の中で調整中という事が多い。「なし崩しにならないか」ということについてはきちんと会社とも確認を取る。▼長野駅トイレの関係についてはダイヤ改正の見直し交渉の中で上げ

ていく。▼偽装請負についてはそうならないよう申し入れをした。▼技術継承問題では会社は「3年というスパン」と言うが、きちんとした答えが見えない。

諏訪書記長

▼トイレの問題は支社だけでなく、しな鉄もあるので県交運の場でも考えていきたい。しな鉄労組とも情報を共有したい。▼ホタテ販売は苦勞してやっ頂いていることに感謝している。少しでも在庫を残さない様頑張っ

ていきたい。チラシは労組会議にも伝えていく。▼長野地本での春闘の取り組みは方針に具体的に書いている。ストライキ指令がいつきても入れる様に、長野地本でも準備はしていく。

集約

①組織の強化・拡大は他職場の取り組みに学び、諦めることなくやっっていく。3月12日、13日に本部とエリア本部のオルグをかねた組織拡大経験交流集会の開催を計画している。②2016春闘の基本は第一に職場における要求実現の構築、第二は働くルールの確立、第

三にJR三島・貨物会社の構造物の解消、安全、安定輸送の確立などです。本部・エリア本部の交渉を押し上げるため分會運動の活性化をはかり、1人1要求1行動など創意工夫し春闘を取り組むことが必要。③JR職場は業務委託、外注化による効率化を進めている。技術継承や労働条件の改善、教育の充実を求め職場運動として強化していく。④7月に行われる参議院選挙において、国民の安心した暮らしと権利を守る為、比例区吉田忠智候補の必勝に向け各級機関、組合員が奮闘する事を要請する。

国鉄労働組合



▼去年は1年間運転士の研修を行った。研修に入る前に分會長より「運

青年部常任・坪井さん

①エルダ+職場確保で職場委託が進められた。労働条件が低下。貨物では信州ロジックに対しての手当の要求。②駅窓口社員のフルタイムでのネーグレート廃止を要求。③アスベスト健康管理手帳取得も一定の成果が出ている。④組織拡大は具体的取り組みを更に上げていく。

矢澤委員

2月8日、ラフレさいたまにおいて第33回拡大委員会が開催され、当面する闘争方針が確立されました。矢澤委員と坪井さんの発言を紹介します。

第33回東日本本部拡大委員会開催 矢澤委員と青年部・坪井さん発言

士の士は武士の士だからそのつもりでやってこい」と言われた。白河では先輩から「人生で一番勉強するよ」と言われていたが覚えることは多かった。一度赤点を取ってやばいと思い、本当に勉強する機会となった。3月から国労の師匠のもとで見習いが始まった。運転歴30年のベテランで乗ってて安心感があった。その後国家試験に合格し、職場の見極めは緊張し出来が悪かったが2回目の見極めで合格した。運転士となつて3ヶ月なので1年生に戻った気持ちだ。国労の先輩を師匠につけて

くれたのは、国労を認めている証拠だと思う。▼国労の人は仕事もできるの自信を持って加入をやっ頂きたいと思う。経験がないと仕事も運動も語れないので早く身に付けたい。僕が国労に入つてやっっているのはもつと働きやすい職場にしたいし、いい職場にしたいのでそういう人を増やしたい。仙台の会議で聞いた加入者の発言では「仕事もプライベートも安心して相談できるから入った」と言っていた。僕もそうならなきゃいけないなと思うし頑張りたい。

人といのちが輝く社会を
長野地本は吉田だともさんを
応援しています

戦争法 廃止!!

(第24回参議院議員選挙・比例区予定候補者)